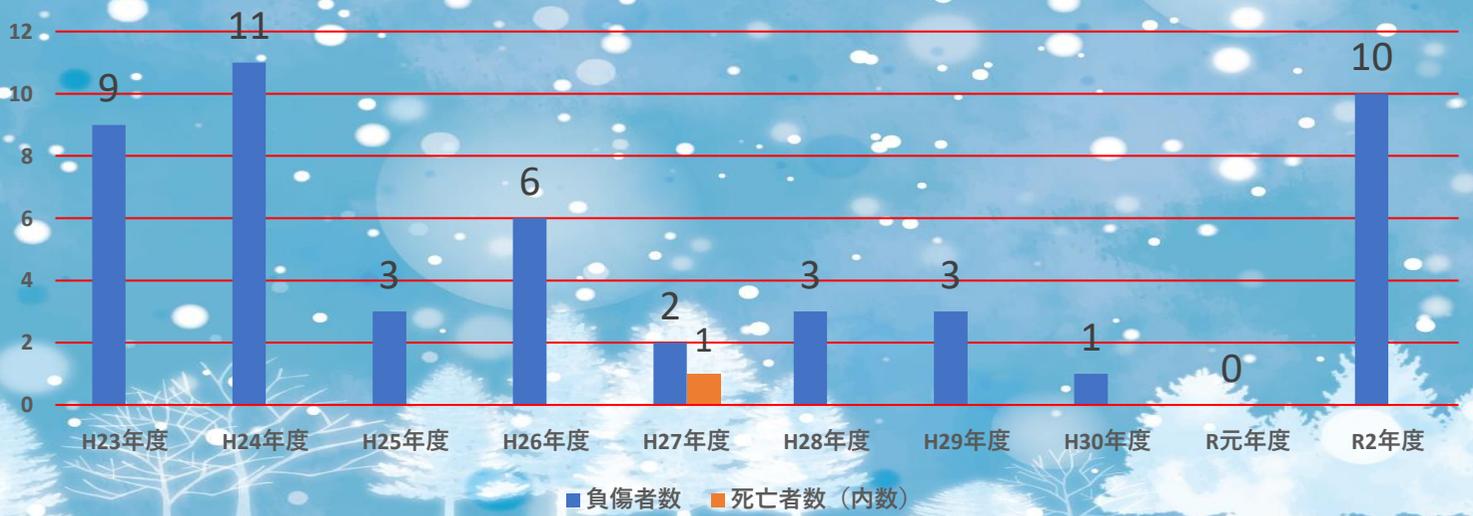


STOP! 雪下ろしによる墜落災害

～墜落防止対策の準備は整っていますか?～

雪下ろし作業における屋根からの墜落災害発生年別推移
(平成23年度～令和2年度)



秋田県内において、毎年12月～3月にかけて屋根の雪下ろし作業に伴う墜落災害が発生しております。発生年によって負傷者数に変動はありますが、過去10年間の平均では毎年5人程度の労働者が、屋根からの墜落により負傷し、中には重症化したり、死亡している事例もあります。積雪量の多い地域において負傷するケースが目立ちますが、発生場所は県内全域に及んでおります。

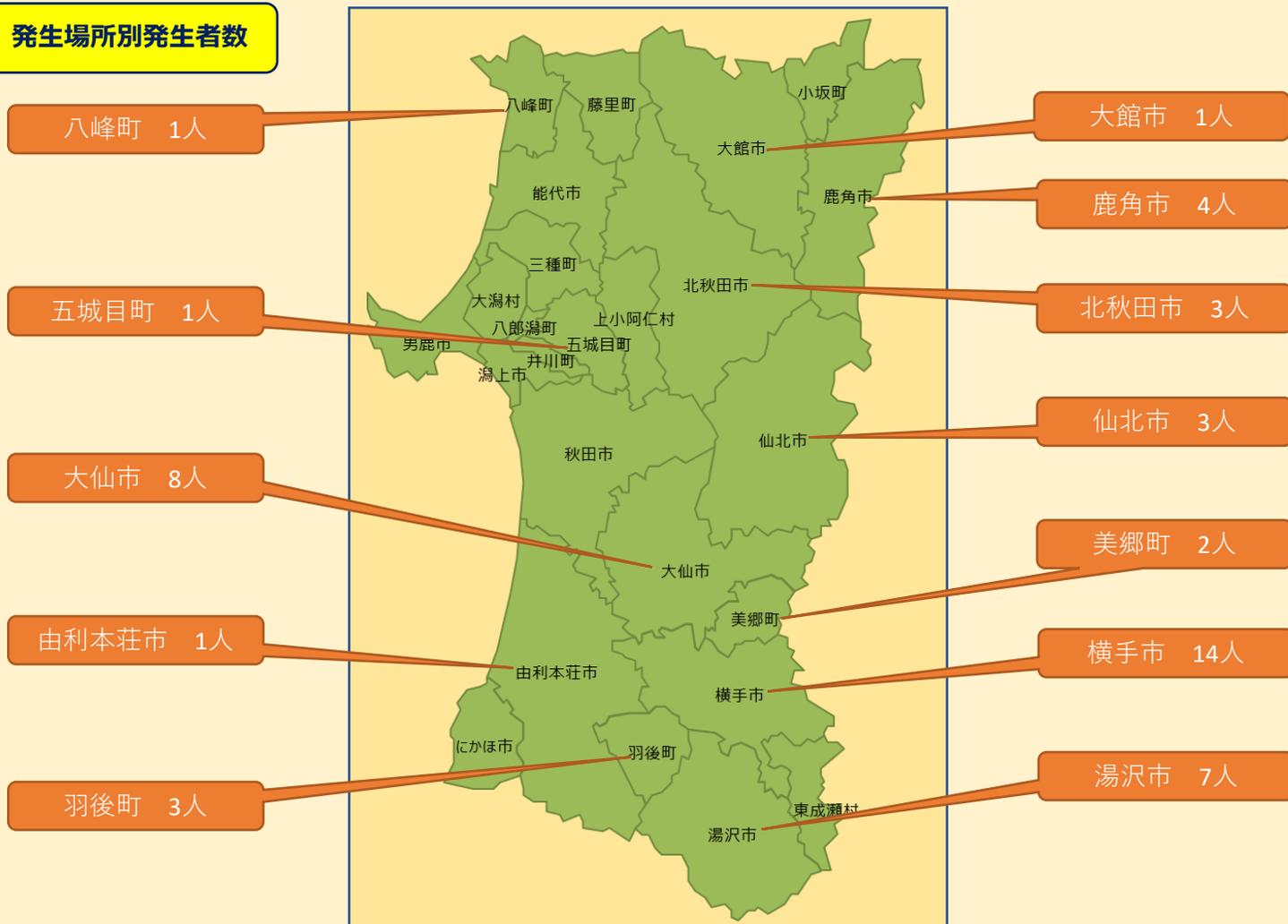
災害事例を見ますと、自社建物の雪下ろし災害においては、本来の業務と違うためか雪下ろし作業を軽視して、安全対策が不十分なまま作業を行い被災しているケースも目立ちます。

本来の業務と異なる作業においても、作業前に安全な作業方法を管理者側と作業員側双方で確認し、墜落防止対策に必要な用具等を準備してから、適切な雪下ろし作業を行わせましょう。



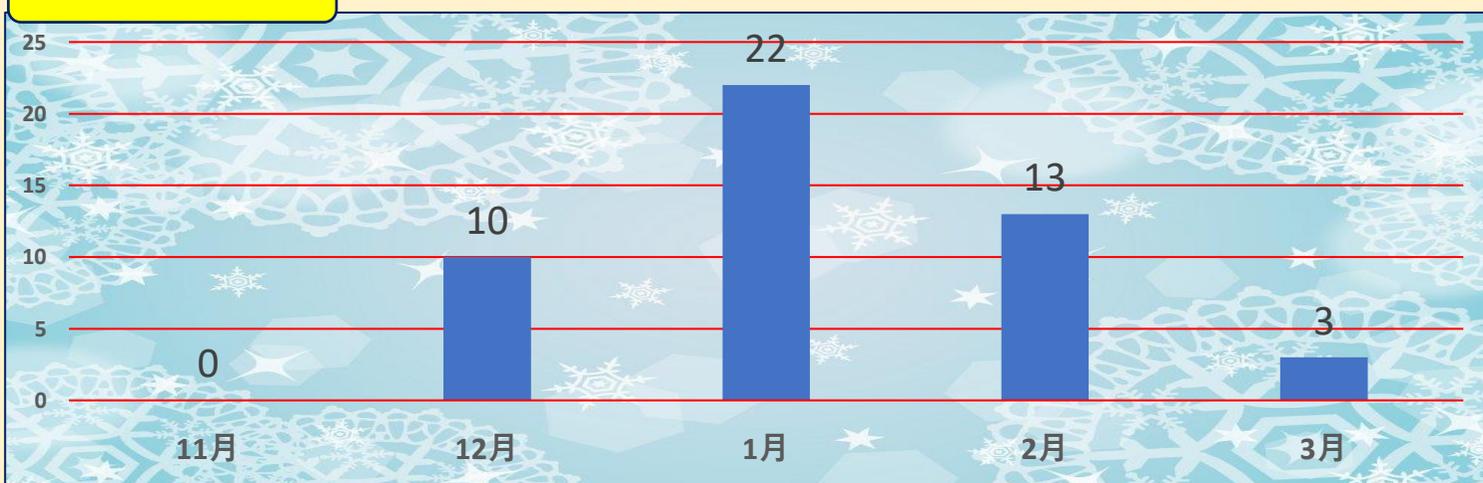
雪下ろし作業における労働災害発生状況（平成23年度～令和2年度）

発生場所別発生者数



過去10年間に発生した「雪下ろし作業」における屋根からの墜落災害発生場所別負傷者数になります。負傷者数は積雪量に比例して多くなっており、図でもわかるとおり、県内全域で発生しております。なお、地域別では横手市での発生が14人で最も多く、次いで大仙市で8人となります。

発生月別発生者数



過去10年間に発生した「雪下ろし作業」における屋根からの墜落災害発生月別負傷者数になります。墜落災害は12月から始まり、1月がピークとなり3月まで発生しております。1月は全体の45%となり、約半数が1月中に発生しております。

雪下ろし作業における労働災害発生事例

発生事例 1

【発生状況】 自社店舗の屋根の雪下ろし作業を行うため、高さ7mの平屋建ての店舗屋根上で雪下ろし作業を行っていたところ、雪庇を踏み込み屋根上の雪とともに屋根端部から墜落した。地面には落雪した雪が1mほど積もっていたところに墜落したものの。

- ・休業見込み日数：15日
- ・傷病名：腰椎横突起骨折
- ・職種：営業員

【再発防止対策】 作業前に建物に適した墜落防止対策を社内で検討し、安全带やヘルメットなどの保護具を準備して、屋根上では墜落防止対策を確実にしながら作業すること。



発生事例 2

【発生状況】 自社工場の屋根の雪下ろし作業を行っていた。軒高4mの屋根に積雪が1mほどあり、軒先より雪庇も1mほどセリ出ているため、軒から離れた位置で雪庇を落とそうとしたところ雪庇と共に地面に墜落した。隣家に落雪しないよう急いで対応したため、墜落防止対策は特に行わないまま作業した。

- ・休業見込み日数：6日
- ・傷病名：肋骨骨折、外傷性気胸
- ・職種：総務担当

【再発防止対策】 作業開始時に安全带やヘルメットの着用を確実にし、墜落防止対策を徹底すること。通常業務と異なる作業を行う場合は事前に安全教育を実施すること。



発生事例 3

【発生状況】 店舗屋根の雪下ろし作業を依頼され作業中、休憩のため下に降りようと屋根上を歩行した時、スノーシューに足を乗せてしまい高さ3m軒先から地面に墜落した。作業中は安全带を使用していたが、休憩するため外して移動していた。

- ・休業見込み日数：2カ月
- ・傷病名：足くるぶし骨折
- ・職種：土木作業員

【再発防止対策】 移動時であっても屋根上では無胴網状態をなくし安全带を着用しながら移動を行うこと。



